

## 社会福祉法人 いわせ長寿会 令和4年度 事業報告

令和4年度につきましては、「共に生き、わかちあえる毎日」の運営理念実現のため役職員一丸となり取り組んで行く予定ではありましたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から各取り組み等における中止や変更等があり、感染防止を最優先に取り組んだ1年となりました。

稼働率については、例年通り各事業所、ユニットそれぞれ事業計画に基づき「財務・顧客・業務・人材」の4つの視点で目標設定し事業を展開いたしました。

以下項目別に詳細を報告いたします。

### 1-1. 評議員会

令和4年度において評議員会1回を下記のとおり書面決議にて実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R4.6.15	評議員7名 監事2名 理事2名	1. 令和3年度事業報告並びに決算について  監事監査報告	事業報告並びに決算について承認するもの。

### 1-2. 理事会

令和4年度において理事会4回を下記のとおり書面決議にて実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R4.5.24	理事6名 監事2名	1. 令和3年度事業並びに決算の承認について  監事監査報告  2. 定時評議員会の招集について  3. いわせ長寿苑電気温水器取替工事請負契約の締結について	1は令和3年度事業計画並びに決算の承認するもの  2は定時評議員を招集するもの  3は電気温水器取替工事請負契約締結の

		他、報告2件	承認するもの  いずれも原案通り可決承認するもの。
R4.8.1  臨時理事会	理事6名  監事2名	1、諸規程の一部改定について	給与・経理規程の一部改定の承認するもの  原案通り可決承認するもの。
R4.12.23  定例理事会	理事6名  監事2名	1、第一次補正予算（案）について  2、諸規程の一部改定について  他、報告1件	1は、補正予算の承認するもの。  2は、給与規程一部改定の承認するもの。  いずれも原案通り可決承認された。
R5.3.24  定例理事会	理事6名  監事2名	1、令和4年度最終補正予算（案）について  2、令和5年度事業計画（案）について  3、令和5年度資金収支予算（案）について  4、令和5年度短期借入限度額の承認について  5、理事長の利益相反取引の承認について	1は、補正予算の承認するもの。  2は、令和5年度事業計画の承認するもの。  3は、令和5年度資金収支予算の承認するもの  4は、令和5年度短期

			借入限度額の承認するもの  いずれも原案通り可決承認された。
--	--	--	--------------------------------------

# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2-1

特別養護老人ホーム

## 1. 目標

- (1) 提供サービスのブラッシュアップを図り、利用者・家族からの負託に応える  
 (2) 生産性を上げ「人が集まるサイクル」の構築

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	年間平均稼働率97%の維持	感染症蔓延防止及びへのアプローチ	同様の症状の感染症蔓延 2ユニット以下	M	上期 0件 100% 下期 1件 100% 達成率 100%
	②	空床期間を減らす	実態調査に行ける職員を増やす	上期：2名以上 下期：3名以上	H	上期：0件 10% 下期：1件 40% 達成率 25
顧客	①	その人らしい暮らしの継続	利用者のADLの維持	バーセルインデックス利得特養平均1以上 1回/半年	M	上期：1.56 100% 下期：0.8 80% 達成率：90%
業務	①	特色のあるユニット作り	ユニット独自の取り組みを行い日々の楽しみに繋げる。	各ユニット2回以上実施 上期：1回 下期：1回	M	3ユニットで実施。達成率60%
	②	業務負担の均等化	各種研修講師や説明会等で幅広い分野に対応できる職員を増やす	出前講座メニュー、説明会資料の見直し、更新 上期：2名 下期：2名	H	上期2名 100% 下期更新のみ 50% 達成率：75%
	③	急変時の対応強化	利用者急変時、他職種と連携し迅速に対応できる	確認テスト実施。介護職員平均80点以上。 上期：1回 下期：1回	M	上期：勉強会 達成率50% 下期：勉強会 50% 達成率：50%
人材	①	スキルアップする機会の提供	イーケアラボの使用率向上	課題の周知 1回/月	M	更新のみ。 20%
	②	ネガティブな3Kを感じない職場環境作り	人材の定着 「危険・汚い・きつい」 「希望・期待・感謝・感動・感激・可能性・快感」	上期：ネガティブ3K洗い出し 下期：改善50%以上	H	上期：60% 下期：20% 達成率：40%

# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名
2-2 短期入所生活介護

## 1. 目標

(1) ニーズに合ったケアが行え、選んでもらえるショートステイを目指す
(2) 根拠を理解した介護が行えるようになる

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	稼働率維持	健康管理に気を付け、状態変化時の早期発見早期対応をする。	体調変化時や急変時の対応方法をシーン別学ぶ 12回/年	M	6回/6回 上：100% 6回/6回 下：100% 通期：100%
	②	リピーターの獲得	利用者や家族の意向に沿った援助が出来る。	アンケート実施 満足度9割以上	M	10/17名上：59% 下期実施なし 通期：59%
顧客	①	充実した余暇活動	毎月テーマを決めてレクリエーションを行い、楽しみを持ってもらう。	12回/年	M	上：50%(3/6回) 下：50%(3/6回) 通期：50%
	②	紛失や誤混入を減らす	荷物の紛失や誤混入・返し忘れを減らし、信頼関係を崩さないようにする。	①紛失 0件/月 ②誤混入・返し忘れ 0件/月	H	①上：83%(1件) 下：67%(2件) 通期：75% ②上：17%(1/6月) 下：40%(0/6月) 対策検討実施 通期：29%
業務	①	ケアの統一	介助時の注意点等情報共有し、介助中の事故を防ぐ。	月2名 KYT実施	L	9名/12名 75% 上：71%5名/12名 42% 下：38% 通期：55%
	②	環境整理	居室の環境を自宅と同様に作り、事故や怪我を無くす。	居室環境の写真の更新	L	上：66%(25/38名) 下：86%(30/35名) 通期：86%
人材	①	目的意識の統一	目的意識を統一して、決め事が継続できるようにする。	ユニット内での決め事を文章化し、まとめたものを作成	M	書式のみ決定 上：30%完成 下：100% 通期：100%
	②	業務の明確化	業務の中にある「無理・無駄・ムラ(3M)」をなくす。	上：現場の課題を見える化し分析、実行計画を立てる 下：実行計画の振り返り	H	計画し実行 上：100% 下：50% 通期：50%

# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名	2-3 通所介護
-----------	----------

## 1. 目標

(1) 個別対応の充実を図り質の向上と安定したサービスの提供。
(2) 安定収支の為の手段・方法の確立（稼働率 83.2%）

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	利用者数の安定	居宅向け申し送り方法の新たな方法の確立（生活相談員）	月別実人数 55人/年平均	M	上：54.8人 達成率：99.6% 下期：44.3人 全期 49.6人 達成率：90%
	②	ADL 維持加算取得準備	利用者の自立支援・重度化防止	LIFE 活用し該当月の翌月から起算して6か月目ADL利得算出する 各担当制 ADL 評価	M	上：毎月実施 達成率 100% 下期：毎月実施 全期：100%
顧客	①	サービスの質と利用者満足度の向上	個別化と集団レク等の見直しとプログラムの確立	稼働率 82.5%/年平均	M	上：稼働 83.2% 達成率 101% 下：56.5% 全期：69.9% 達成率：85%
	②	利用者と共に食事づくりの継続	食事を楽しみ意欲・認知機能の改善	業者と打ち合わせ（メニュー考案）/毎月1回	M	上：毎月実施 達成率 100% 下：2.3月実施 全達成率：33%
業務	①	利用者、家族からの意見聴取苦情0件	アンケート実施	年1回実施 目的とゴール（30%）を振り返り（30%）家族へフィードバック（40%）	M	上：実施 達成率 100% 下：実施 全達成率：100%
	②	他事業所デイと情報共有	レク内容や業務効率の向上のための意見交換	上半期1回 下半期1回	M	上：未実施 達成率 0% 下：未実施 全達成率 0%
人材	①	職員のスキルアップ	オンライン研修へ参加し、知識・技術の向上を図る。	1人あたり2回/年(上期1回、下期1回)	L	上：実施 達成率 100% 下：実施 全達成率 100%

# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-4

居宅介護支援事業所

## 1. 目標

- (1) 新規プランの獲得とプラン実績数の安定
- (2) サービスの質の向上のため幅広い知識の習得

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	実稼働件数 (最大105件) 加算算定	①一人当たり実績件数35 ②新規利用者獲得 ③特定加算Ⅲの取得	一人あたりの実績数35件 全体105件	M	① 90% ② 100% ③ 50% (6~8月のみ)
	②	認定調査の実施	月2件の認定調実施 状況に応じて認定調査の件数を増やす	年間24件	L	100%
顧客	①	①各事業所、利用者、 家族からの居宅への 苦情0件 ②利用者、家族から 各事業所への相談要望	①アンケートの実施 ②各事業所への情報提供	①アンケート実施後の意見等 100%回答対応 ②情報提供数 1回/月	M	① 50% ② 25% 要望1件
	②	行政、地域包括等との連携	地域ニーズの把握や情報共有するため、地域ケア会議等への参加	地域ケア会議 年1回以上	H	重層会議参加 3回 100%
業務	①	特定事業所加算算定の要件内容の取り組み	①他法人連携 ②定期会議	①年2回事例検討 ②概ね週1回のケース検討会議	H	① 0% ② 50%
	②	集中減算を踏まえた中立公正な事業所選択	①集中減算の要件を確認しながら事業所選択	①自法人利用率 70%	M	① 62%の利用 88%
人材	①	相談業務スキル向上	在宅での生活を支えるための幅広い視点の知識習得	研修参加2回以上	L	① すかがわケアマネ協会主催2回 延べ3人
	②					



# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名	2-5 訪問介護
------------	----------

## 1. 目標

(1) 訪問件数の量的拡大 (2) サービスの質の向上と安定
-----------------------------------

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	安定した利用者数とサービスの維持	安定した訪問件数維持 空き状況報告 利用全居室 1回/月	目標 10.5 件/日	H	上期 10 件/日 80% 下期 8.7 件/日 通期 9.3 件/日 89%
	②	自立支援	ADL 評価継続し新たなニーズ・サービス内容の提案	サービス内容変更・追加の提案 4名/半年	M	上期 5 名 80% 下期 4 名(9 件) 通期 100%
顧客	①	生活援助技術の向上	調理の考案・レシピを増やす	新メニュー考案 年3案/1人	M	上期 0 案/0% 下期 3 案/30% 通期 30%
	②	在宅生活の維持・継続	既往歴と観察事項の把握	急変時シートへの記入追加 10名/半年	M	上期 16 名 下期 10 名 通期全利用者 100%
業務	①	業務の統一化	手順書の更新・継続した活用	会議での照合 10名/半年	M	上期 13 名 下期 13 名 通期全利用者 100%
	②	不安なく業務を行える	全職員がいつでも感染症予防対応が出来る	想定シミュレーション実践 4回/年	M	上期 1 回 50% 下期 2 回 通期 3 回 75%
人材	①	知識の習得 スキルアップ	担当制による勉強会実施 (月刊誌の活用)	6回/年	M	上期 2 回 60% 下期 3 回 通期 5 回 83%
	②	サービスの質の向上	専門性を高め先読みした介護が出来る	外部研修(オンライン含) 年2回/1人	L	上期 1 回/2 人 70% 下期 1 回/1 人 通期 50%

# 令和4年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名	2-6 訪問看護
-----------	----------

## 1. 目標

(1) 利用者月平均40人の達成
(2) 訪問看護サービスの質の確立

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	難易度	結果/達成率
財務	①	利用者（実人数）の定着	・新規利用者獲得 ・居宅や病院との連携を図り顧客獲得を図る	50人/月平均 看護6割 リハビリ4割	H	実人数平均48人 看護6.5割 リハ3.3割
	②	医療ニーズの高い利用者の受け入れ	ターミナルや難病等医療依存度の高い利用者の積極的受け入れ	ターミナル対応 10件/年	M	上半期12件 (ターミナル加算算定利用者)100%
顧客	①	多職種連携促進	在宅ケアに関わる多職種間の相互理解を深め、地域包括ケアの推進に寄与する	担当者会議参加 100%	M	80%
	②	安心したサービスの利用	・感染対策の徹底 ・予防チェックシートの作成	チェックシート 達成率100%	M	チェックシート作成済み
業務	①	業務の効率化	・業務を洗い出し無駄を省く ・業務の分業化	・業務の洗い出し ・分担表に沿って3ヶ月/回ローテーション	M	100%
	②	看護の質の評価	・看護計画の見直し・評価 ・マニュアルの見直し・作成(3か月/回)	・月1回看護計画の見直し ・年4回マニュアルの見直し	M	計画見直し毎月実施。マニュアルの見直し未実施 50%
人材	①	スキルアップ 看護技術向上	・研修への参加(3回/年以上) ・最新知識・技術の習得	3回/年以上研修参加	L	76%
	②	働きやすい環境作り	・スタッフミーティング ・職員間で注意し合える環境を作る	1回/月スタッフミーティング	M	

### 3 職員研修

職員の技術力向上及び知識力向上を目的に、より利用者に「安心・安全」に生活していただくため実施し、令和4年度は職員が密集する事を避け配信により実施し取り組みました。

#### 3-1 施設内研修

時 期	参加者数	参加率
上期 (7/1~7/31)	74 名	90.2%
下期 (2/1~2/28)	76 名	93.8%

\*内容：事故防止・食中毒蔓延防止・感染症予防・認知症・苦情相談・急変時対応

#### 3-2 施設内外講師研修

新型コロナウイルス感染防止の為に中止（予定5件）

#### 3-3 施設外研修

主催団体等	研修名	延参加数	内訳
福島県	認知症介護基礎研修	1 名	オンライン
	感染症の基本・クラスター対応	2 名	オンライン
福島県社会福祉協議会	キャリアパス対応研修	3 名	集合
	訪問介護テーマ別研修	1 名	オンライン
	多様な働き方と労務管理ポイント	3 名	オンライン
福島県老人福祉施設協議会	介護職員認知症ケア研修	5 4 名	オンライン
全国老人福祉施設協議会	対人援助に効く心の免疫力を高めるワークショップ	4 2 名	オンライン
福島県福祉サービス振興会	職員スキルアップ等研修他	1 8 名	配信

ユニットケア推進センター	ユニットケア研修	1名	オンライン
その他	その他管理運営等に関する研修	54名	集合・配信・オンライン
延べ参加者数（内オンライン83件・配信85件）		182名	

#### 4 健康管理

入居者の健康管理は、嘱託医や協力医療機関との連携に努めながら「早期発見・早期対応」に努め、近年増加傾向にある終末期における医療の在り方等も嘱託医や家族との話し合いのもとに進めました。

##### 4-1 嘱託医師及び協力医療機関

嘱託医師	阿部内科医院（阿部裕光医師 内科医） 毎週木曜日
協力医療機関	公立岩瀬病院 森宿歯科医院（口腔指導年5回）

##### 4-2 入院状況等

1. 入院実数	16人
2. 死亡者数	21人（看取り16人）
3. 救急車要請	16件

#### 5 苦情及びご意見等

苦情件数（全事業含）	8件（接遇6件・利用者対応2件）
ご意見箱投書	7件（公表可のみ 感謝6件）

## 6. 面会者実績

令和4年度における面会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、看取り同意書利用者については直接面会対応とし、通常面会はテレビ電話又はラインビデオ通話を活用した面会方法にて対応させて頂きました。

年 度	テレビ電話	ラインビデオ通話
4年度	481人	48人

## 7. 公益的な取組内容

社会福祉法の改正等により社会福祉法人の責務として地域における公益的取組の実施が求められました。いわせ長寿会としても「施設の廊下を地域の方々の玄関につなぐ」をモットーに取組に努めました。

内 容	開催時期	開催場所	その他
施設内展示入替	通期	長寿苑玄関前ホール他	6回

\*内訳：切り絵・絵画・写真

## 8. 主な行事の実施状況（家族会と共催）

開催時期	事業内容	内訳	主催
令和4年4月19日	観桜会	観桜会として、花見膳を提供し食する	家族会
令和4年9月21日	敬老会	記念品を贈り、敬老をお祝いする お祝い該当者：11名	長寿会との共催
令和4年4月1日 ～令和3年3月31日	誕生祝い	利用者様全員へ誕生日のお祝いに記念品を贈る。1人上限1,500円	家族会

